

## 事業実績報告書記入方法

決算期にかかわらず、毎年7月10日までに提出（提出部数は、御社控えを含む3部）  
 記入については、各項目ごとの注意事項を参考に、運輸局別に記入して下さい。  
 提出については、1運輸支局（記入は全国単位）に一括で提出できます。  
 の箇所はすべて記入して下さい。

事業の種類  
 該当する事業に で囲む

事業者番号 ○○○○○○○○

国土交通省が管理する台帳の9桁番号を記入

区分	一般			特定
	特積	利用	霊柩	

## 貨物自動車運送事業実績報告書

住 所 ○○○○○○○○  
 事業者名 ○○○○○○○○  
 代表者名 ○○○○○○○○  
 （役職名及び氏名）○○○○○○○○○  
 電話番号 ○○○○○○○○

営業用車両数（全  
 車両）を記入

全運転者数を記入

全従業員数を記入

### ■業概況（〇〇年3月31日現在）

事業用自動車数	○○○○両	従業員数	○○○○人	運転者数	○○○○人
---------	-------	------	-------	------	-------

### ■業内容（前年4月1日から3月31日まで）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンプによる土砂等輸送</li> <li>・基準緩和認定車両による長大物品等輸送</li> <li>・国際海上コンテナ輸送</li> <li>・コンクリートミキサー車によるコンクリート輸送</li> <li>・危険物等輸送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷凍、冷蔵輸送</li> <li>・原木、製材輸送</li> <li>・引越輸送</li> <li>・その他 ( )</li> </ul>
--	---

事業の種類  
 該当する事業に で囲む  
 （該当事業が無い場合は  
 「その他」に詳細を記入）

### ■送実績（前年4月1日から3月31日まで）

	延実在車両数 (日車)	延実働車両数 (日車)	走行キロ (キロメートル)	実車キロ (キロメートル)	輸送トン数		営業収入 (千円)
					実運送(トン)	利用運送(トン)	
北海道	関東運輸局管内に営業所が二つ以上ある場合、関東の欄に合計を記入して下さい。						
東北	自社でお運びになった分を記入して下さい。					利用運送(備車)分を記入して下さい。	
北陸信越							
関東	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
中部	報告は、前年4月1日から本年3月31日までの1年間の実績を記入して下さい 延実在車両数 車両数×365日(うるう年は366日) 年途中の増減車両はその在籍日数を加算する 延実働車両数 車両の稼働日数を合計する 帰りの空車運行日も1日として含める 走行キロ 前年4月1日から本年3月31日までの1年間の自社全車両の総走行キロ数 実車キロ 貨物を積載して走行したキロ数 運賃の収受できるキロ数 輸送トン数 実運送...自社車両にて輸送した取扱トン数(霊柩は体数を記入) 利用運送...協力会社等(備車)による取扱トン数 営業収入 実運送と利用運送の合算による売上額						
近畿							
中国							
四国							
九州							
沖縄							
全国計							

### ■故件事数（前年4月1日から3月31日まで）

交通事故件数	○○○○	重大事故件数	○○○○	死者数	○○○	負傷者数	○○○
--------	------	--------	------	-----	-----	------	-----

警察による事故検分が行われた事故件数を記入して下さい。  
 道路交通法第72条1項を参照のこと

支局報告が義務付けられている事故件数を記入して下さい。  
 自動車事故報告規則第2条を参照のこと